

大学院学生各位

To All Graduate Students

平成 29 年度
基盤医学特論 開講通知

Information on Special Seminar Tokuron 2017

題目:「腎代替療法の選択とその導入時期」

Title: Modality of choice for renal replacement therapy and its initiation

言語(Language): 日本語(Japanese)

講師: 今井 圓裕 先生

(中山寺いまいクリニック・院長、
藤田保健衛生大学腎内科・客員教授)



Teaching Staff : Enyu Imai , M.D.

末期腎不全に至ると腎代替療法が必要となる場合がある。患者に、血液透析・腹膜透析・腎移植の腎代替療法に関して説明し、インフォームドコンセント (IC) を得ることは、円滑に治療を進める上で重要なポイントである。KDIGO CKD ガイドライン 2012 では、GFR30mL/min/1.73m²未満で腎代替療法の準備をし、GFR15mL/min/1.73m²未満で腎代替療法に移行するよう推奨されている。早期透析導入の是非が IDEAL 研究で検討されたが、GFR10-15 mL/min/1.73m²での導入は生命予後を改善するものではないことが示された。日本透析医学会の調査でも GFR 2mL/min/1.73m²までの血液透析導入では生命予後に影響を与えないことが示されている。腹膜透析は血液透析と比較して短所もあるが、社会復帰には良い治療法である。先行的腎移植は、最も生命予後が良く QOL も高い腎代替療法であるが、患者並びにドナーへの IC から最短でも 6 か月程度は必要である。末期腎不全患者に最良と思われる腎代替療法を至適な時期に導入することが腎臓内科医の重要なスキルである。腎代替療法のコスト面並びに高齢者に対する非導入という選択についても私見を述べる。

日時:平成 29 年 3 月 30 日(木) 17:30~19:00

Time: 17 : 30~19:00, March 30(Thu), 2017

場所: 医系研究棟 1 号館 地下 1 階会議室

Room: Meeting room, BF of Medical Science Research Building 1

どなたでもご参加いただけます。事前連絡は不要です。No registration required.

* 関係講座・部門等の連絡担当者:

病態内科学講座 腎臓内科 丸山 彰一 Tel:744-2185 (内線 2185)

Contact: Department of Nephrology (ext. 2185)